

「おかえり、はやぶさ」

開発者の視点で家族のきずなを描く

2012年3月10日公開の松竹配給の映画「おかえり、はやぶさ」(本木克英監督)の撮影が8月11日(木)内之浦で行われました。

今回の撮影は、JAXA職員でヒロインの野村奈緒子(渡辺謙さんの娘)の故郷が内之浦という設定であり、その回想シーンとして、叶岳や内之浦漁協、宮原テレメーターセンターなどで撮影が行われました。

映画「おかえり、はやぶさ」は、全編3D映像で描かれます。撮影はこの内之浦で最後となり、すでに編集に入っているそうです。映画は、来年の3月10日に公開されます。

2012年3月10日(土)公開

【キャスト】藤原竜也、杏、三浦友和、他
【監督】本木克英



STORY

太陽より遠い宇宙の彼方にある、小惑星イトカワのサンプルを採取して、地球に帰還する……。人類初のプロジェクトへの期待と、人々の想いをのせて、2003年5月9日、小惑星探査機「はやぶさ」が打ち上げられた。失敗に終わった火星探査機「のぞみ」のプロジェクト責任者の父・伊佐夫への複雑な思いをかかえる「はやぶさ」のエンジニア助手・大橋健人は、伊佐夫に憧れて宇宙研究を志した理学博士・野村奈緒子たちと共に、エンジンからの燃料漏れ、通信途絶、4基のメインエンジンの全停止など様々な「はやぶさ」の困難を乗り越える中で、プロジェクトチームの一員として成長していく。そして、いつしか「はやぶさ」は、その帰還に懸けた関係者だけでなく、日本中に勇気を与える存在になっていくのだった……。

迫力の全編3Dで描く、7年・60億キロにおよぶ、機械と人間の冒険の旅。



©2012「おかえり、はやぶさ」製作委員会